



赤岩岳

赤岩峠

雁掛峠

登山口から登る沢を間違えるも「バリエーションルートだから」と気にせずどんどん進む。途中で、道迷いに気づき、戻ったため事なきを得た。

バリエーションルートだから足跡もないと勘違いし、どんどん登ってしまう

登山道に合流

小倉沢

登山口が違う

1493

1300

1000

1086



足跡をたどって溪谷沿いに登っていきます。すでに間違っている。ずんずん進みます。足跡はまだある。バリエーションルートだから踏み跡も少ないと勘違い。大きな蜂の巣がある岩壁に突き当たりました。岩壁の下をぐるっと回り込んで登山道を探しましたが見当たらず、スタート地点まで戻ることとしました。

途中でトラバース道を見つけ、立派な登山道と合流。通常1時間程度の行程を2時間15分もかかって赤岩峠に到着。尾根縦走と両神山はあきらめ、今日は、大ナゲシ、赤岩岳などを登り登山口に戻ることに変更。（HP参照）

「バリエーションルートだから道が分かりづらい」と勘違いしてどんどん進んでしまう事例。この事例は意外と多くある。地図アプリを使っているのだから「あれっ？おかしい？」と思ったら現在位置を地図アプリで確認すればよいのだが、道迷いの心理はそれを許さない。何故なら、「道が悪いのは、バリエーションルートだから！」と思い込んでいるからである。

思い込みは、厄介だ。目の前に起こる不思議な出来事（この事例は、道が不鮮明）にも動じない。むしろ、「がんばれ！あと少し！」と励ましてしまう。冷静さこそ大切だと思う。